

平成27年度  
「運動失調症の医療基盤に関する調査研究」班  
「運動失調症の分子病態解明・治療法の開発に関する研究」班  
合同研究報告会

1日目：平成28年1月7日(木) 9時40分～17時30分

時間	演題番号	研究者氏名	区分	演題名	発表者
9:40		研究代表者 挨拶		国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院 水澤英洋	
9:45-10:00		ご来賓挨拶 厚生労働省健康局難病対策課、国立保健医療科学院FA事務局、日本医療研究開発機構戦略推進部難病研究課			
I. 疫学・臨床 座長：武田 篤					
10:00	1-1	金谷泰宏	政策班	特定疾患治療研究事業により登録された運動失調症の症例解析について	金谷泰宏
10:15	1-2	大西浩文	政策班	「難病疫学研究班」より「運動失調症政策班」への研究協力について	大西浩文
10:30	1-3	中島健二	政策班	異なった対立遺伝子リピート数を持つSCA6家系の発症年齢	安井建一
10:45	1-4	石川欽也	政策班	ELOVL4遺伝子異常によるSCA34	尾崎 心
II. 診断基準・ガイドライン・患者登録 座長：佐々木秀直					
11:00	1-5	吉田邦広	政策班	皮質性小脳萎縮症診断基準案を満たす症例の臨床的検討：信州大学症例	吉田邦広
11:10	1-6	桑原 聡	政策班	皮質性小脳萎縮症診断基準案を満たす症例の臨床的検討：千葉大学症例	別府美奈子
11:25	1-7	水澤英洋	政策班	運動失調症/SCD・MSA診療ガイドライン	水澤英洋
11:40	1-8	高橋祐二	政策班	運動失調症患者登録・自然歴調査J-CAT	高橋祐二
11:55-13:00 昼 食 「運動失調症の医療基盤に関する調査研究班」研究者会議 全国SCD・MSA友の会 ご挨拶					
III. 評価法 座長：桑原 聡					
13:00	1-9	吉田邦広	政策班	3軸加速度計を用いた小脳失調症における立位・歩行機能の定量的評価：病型別検討と多変量解析	吉田邦広
13:10	1-10	佐々木秀直	政策班	脊髄小脳変性症における歩行解析(第二報)	矢部一郎
13:25	1-11	宇川義一	政策班	本態性振戦でのプリズム順応	花島律子
IV. 画像・バイオマーカー 座長：瀧山嘉久					
13:40	1-12	高嶋 博	政策班	小脳失調症画像の検討—自己免疫性小脳失調症を中心に	崎山佑介
13:55	1-13	佐々木真理	政策班	拡散糸度画像と定量的磁化率マッピングを用いた運動失調症の早期鑑別診断基準の検討	伊藤賢司
14:10	1-14	武田 篤	政策班	パーキンソン病患者での <sup>11</sup> C]BF-227 PETによる $\alpha$ -シヌクレイン蛋白凝集体の画像化	菊池昭夫

V. 治療						座長：石川欽也					
14:25	1-15	西澤正豊	政策班	脊髄小脳変性症に対するバレニクリン酒石酸塩の治療効果の検討	他田正義						
14:40	1-16	宮井一郎	政策班	脊髄小脳変性症に対する反復集中リハビリテーションの転帰	宮井一郎						
14:55	1-17	瀧山嘉久	政策班	痙性対麻痺に対するITB療法の治療効果臨床評価尺度の作成に向けて	一瀬佑太						
15:10-15:30						コーヒープレイク					
VI. MSAのバイオマーカー、患者登録						座長：若林孝一					
15:30	1-18	辻 省次	政策班	多系統萎縮症レジストリーの構築および臨床評価スケールの標準化に関する検討	辻 省次						
15:45	1-19	祖父江 元	政策班	認知機能低下を示す多系統萎縮症の脳内ネットワーク解析所見	原 一洋						
16:00	1-20	若林孝一	政策班	多系統萎縮症の軟膜下および脳室周囲アストロサイトにおけるリン酸化 $\alpha$ シヌクレインの蓄積	森 文秋						
16:15	1-21	吉良潤一	政策班	多系統萎縮症の病態形成における自然免疫の関与とバイオマーカーの探索	山口浩雄						
VII. MSAの発症機序						座長：祖父江 元					
16:30	1-22	佐々木秀直	実用化	ゲノム変化を中心とした多系統萎縮症発症素因の探究	浜 結香						
16:45	1-23	若林孝一	実用化	多系統萎縮症におけるオートファジー上流分子の異常	三木康生						
17:00	1-24	武田 篤	実用化	線維化 $\alpha$ シヌクレイン取り込み阻害による新規シヌクレイノパチー疾患修飾療法の開発	長谷川隆文						
17:15	1-25	貫名信行	実用化	シヌクレイノパチーにおける凝集制御因子の探索	奥住文美						
17:30	終了										

2日目：平成28年1月8日(金) 9時00分～17時00分

時間	演題番号	研究者氏名	区分	演題名	発表者
VIII. 生理学的解析 座長：平井宏和					
9:00	2-1	宇川義一	実用化	脳の時間保持能力 - 脊髄小脳変性症とパーキンソン病の比較-	寺尾安生
9:15	2-2	田中真樹	実用化	脊髄小脳変性症における高次機能評価の試み	植松明子
9:30	2-3	筧 慎治	実用化	異なる運動失調症の手関節運動に含まれる周波数成分の違いについて	筧 慎治
IX. 発症機序・動物モデル 座長：池田佳生					
9:45	2-4	岡澤 均	実用化	iPS細胞由来ヒト神経細胞を用いたSCA1の病態研究	田村拓也
10:00	2-5	平井 宏和	実用化	脊髄小脳失調症の霊長類モデルの作成と検証	平井 宏和
10:15	2-6	和田圭司	実用化	ポリグルタミン病トランスジェニックマーマウスモデルの樹立	永井義隆
10:30	2-7	石川欽也	実用化	SCA31モデルショウジョウバエの解析	石黒太郎
X. 疾患別発症機序 座長：小野寺 理					
10:45	2-8	松浦 徹	実用化	FXTASの体細胞CGGリピート不安定解析	松浦 徹
11:00	2-9	阿部康二	実用化	Asidan新規家系集積に関する報告	山下 徹
11:15	2-10	瀧山嘉久	実用化	ALDH18A1変異が考えられた痙性対麻痺の2家系	高 紀信
11:30	2-11	石浦浩之	実用化	菌状核赤核・淡蒼球レイ体萎縮症蛋白質(DRPLA protein)の転写co-regulatorとしての標的遺伝子の解析	波多野敬子
11:45～12:30 昼 食 「運動失調症の分子病態解明・治療法の開発に関する研究班」研究者会議					
XI. 治療法開発 座長：和田圭司					
12:30	2-12	池田佳生	実用化	非翻訳マイクロサテライト・リピート伸長によるSCAの治療薬探索	平柳公利
12:45	2-13	小野寺理	実用化	DRPLA (Dentatorubral-Pallidoluysian Atrophy)をモデルとしたAntisense-Oligonucleotide発現抑制を用いたポリグルタミン病治療戦略研究	加藤泰介
13:00	2-14	宮嶋裕明	実用化	無セルロプラスミン血症における鉄輸送調整蛋白ヘプシジンの病態関与	河野 智
13:15	2-15	祖父江元	実用化	SCA1細胞モデルに対するHSP90阻害剤の効果	勝野雅央
13:30	終了				

14:00～17:00	小脳研究会				
-------------	-------	--	--	--	--